

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業概要	事務事業名	《交通安全施設維持補修事業》						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	道路課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	維持係		
	総合計画 分野別計 画	主目的	5 都市基盤		23 道路		2 歩道整備を進める				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	2	目	6	大	3	中	
	根拠法令・個別計画	道路法									
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営				地域住民組織		<input type="radio"/> 一部又は全部委託			
		指定管理・外郭団体		名称:							
		NPO・その他		名称:							
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	交通安全施設の維持補修及び設置により施設の機能を向上させ、交通上の安全を確保する。										
内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化、損耗及び破損した防護柵、カーブミラー、道路照明灯等の交通安全施設の補修を行う。また、危険な場所に交通安全施設の設置を行う。 ・横断歩道橋は、計画的に補修及び落橋防止の地震時の対策工事を行う。 ・職員は、委託、工事の設計積算及び施工管理を行う。 <p>【委託業務内容】 測量設計業務委託 1橋 三舟歩道橋 (委託料: 2,730千円) 交通安全施設管理委託業務 (委託料: 20,842千円) 区画線設置延長 28,141m 交差点表示器設置14基 カラー舗装 361㎡</p> <p>【工事内容】 防護柵設置 1,375m (工事請負費: 41,147千円) 道路反射鏡設置 40基、道路照明灯設置 19基 横断地下道補修工事 1箇所 (工事請負費: 735千円) 横断歩道橋耐震補修工事 2橋 (工事請負費: 15,912千円) 藤ヶ丘4号橋、南歩道橋</p>										
受益者負担	無	内容									

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	71,040	81,366	67,100	
		正職員	従事者数	人	0.82	0.82	0.87
			人件費	千円	4,399	4,399	4,667
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0
		費用合計		千円	75,439	85,765	71,767
	対前年比		%		113.6		
財源	一般財源	千円	75,439	85,765	71,767		
	国・県支出金	千円	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0		

業	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23	
		防護柵設置	m	目標		1,200	1,500	1,200
				実績		1,549	1,549	
		道路照明灯設置	基	目標		20	20	
				実績		22	22	
		補修工事実施歩道橋	橋	目標		1	2	
実績				0	2			
績	成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23	
		年間交通事故発生件数(人身事故)	件	目標		—	—	—
				実績		1,163	1,186	
				目標				
				実績				

事業の自己評価（一次評価）	事業目的の達成状況	住民からの要望や日常の管理により確認された施設の不具合において、補修を行う。また、危険な場所に施設の設置を行うことにより、交通の利便性・安全性の向上が図られている。				
	事業を廃止・休止したときの影響	交通安全施設の維持補修及び設置は、道路を使用する全ての市民の交通上の利便性・安全性を確保する上で不可欠であるため、廃止を行えば道路環境の悪化につながるようになることと考える。				
	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)			
	判定理由	現状どおり事業を継続し、道路の交通上の安全を確保していくことが、道路を使用する全ての市民の交通上の利便性・安全性につながる事となるため、現状維持とした。				
	今後の事業の方向性（今後の取組み・改善計画等）	交通上の安全を確保するため、市民ニーズ等を十分に把握し、着実に事業を実施していく。				

二次評価	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)			
	判定理由	一次評価のとおり				